



●第10回神戸女流文学賞受賞作

《最終回》

オレンジ色の闇

舟木かな子

絵

岩島雅彦

余計なことだ。この人に言う必要はない、と首を振った。私は猫以外、殺しとは無関係。残酷な関わりなど持ちようのない人生。しかし遠い昔の不思議な寂莫とした夢は、どこか殺しに似ている。何の殺しか解らないが。三十年も前のある時期、昼も夜もつきまとわれた夢だった。——どこの誰の家ともわからない、途微もない大広間。その床の間近くにぼつりと置かれた柩。私が近づく白い大きな棺の蓋がカタツと音を立てて横にずれた。恐怖に金縛りに合って覗き込む。底に真っ赤な目玉が一つ。屍体はない。目玉がぐると動いて私を凝つと見る。血の彩のなかの黒目に私が映る。もう必死で逃げた。走っても走っても古いお城のような奥座敷がつづく。湿った畳の登音にわれとわが身で怯え、がむしやらに走る。

あの目玉は何だ、なぜ真っ赤、なぜ私を覗む。後頭の一点がこの凝視にじりじり焼かれる。ああ、誰か助けて、大声を出したい、いくら絞っても声は出ない。無限に続いたと思えた奥座敷が突然消えて、気がつくとい私は見慣れた生家の裏木戸に立っている。喉が乾いてたまらない。あそこに釣瓶井戸がある、ほつとして駆け寄り、古桶を放りこむ。滑車の音とともに水を溢れさせ桶が上がってくる。あ、一口、と顔を近づけたとたん、ギャツと叫んだ声で目が覚めた。満々と盛った水の底に炎を噴き出す目玉が一個、こつちを覗んでいたのだ。

かなり長い間あの鮮烈な赤が臉のなかで旋回しつづけた。あのまま目玉が内臓に棲みついたのではないかと思え、夢の一部始終を憶い出してはむかむかした。なぜ赤

い目玉に追われたのかと考えていた頃「青春無限」と書かれた年賀状が届いた。聖書研究会に顔を出していた時の青年牧師からだ。高二の秋、二カ月ほど通ってやめてしまったけれど、六全協当時の学生運動から教会へ復帰したその青年に淡い恋心を抱いた。教団体質の改革を叫び、傍らに立つイエスの教えを説く青年には常時男女の学生が群れ、次々と洗礼を受けていった。「青春無限」の文字は、恋からも宗教からも門前で逃げ出した自分を誰何していた。恐怖の目玉は、教会の聖餐式のワインを上からのぞいた感じに似ていたようだ。あの暗示めいた感慨も長い歳月が消してしまっていた。

「あの子を憶い出して、しみじみ考えるの」

夫人の声が少しふるえている。

「どうぞ、これからは、誰の邪魔にもなりませんように。誰の役にも立たない、世の中にも何にも、役に立たない人間のままで終わりたい、そうしたいよううって」
船のように淀んでいた熱帯臭い空気にふと亀裂が入る。今夜はこの結論を、この私に言いたかったのだ。何さ悟ったふうな、気の利いた台詞ふうな、誰が、隠者の説教など！

島子はガストロブの音と熱が、いつのまにか背中に戻ってきたように思える。背中の熱い闇。炎のなかに目玉が一個ありありと。

夜が更け、二人はそれぞれの心の音を聴いていた。

夕闇がうすく這い始めた草むらや、ブッチは気忙しく臭きまわる。

きぬぎぬのつかいもなしか、島子は呟く。今日一日に、何度この言葉を舌にのせたことか、莫迦々々しい、と唇を噛む。

軀の肉を縫って無数の線虫のように走る血管へ目を凝らす。どこの血流も、けだるく気まぐれに、音もなく停滞しました疾走する。

軀中の血という血が爆裂音をたて、世界中の火事をわが身に集めた、と思えたあの時。あの瞬間の感覚を憶い出そうとずいぶんあがいた。頤の下を、耳朵を、乳房の脇を、島子は幾度、指に触れてみたことだろう。自分の肉はなぜ沈黙しているのか。あの熱風が火傷の痕をつくらなかったのはおかしい。まぼろしが擦過したにすぎなかったのだろうか。島子は、夫以外の男と性を交わした事を何とか説明し痕跡を確かめたかった。十日経って濃くなったのは、不確かさと索莫感だけ。

ブッチが妙な恰好をしている。

公園へいつのまに入っていたのか、雌のマルチーズがブッチを抱えこまれている。ブッチは後肢で立ち、前肢二本でマルチーズの脇腹をおさえ、うっとりした目を開いて大袈裟な身ぶりで腰を振っている。

ああ、やってる、やってる、二人の小学生がキャチボールを中止して走り寄ってきた。

島子はあわてて二匹の犬のもつれた肉塊を蹴りとばした。ギャンツノ二匹はぶざまに横転して離れた。中学生くらいの女の子が駆けてきて、マルチーズを抱き島子を睨んだ。

可哀そうに、蹴ることないのになあ、やらせたらええのに。小学生は唇を尖らせて島子を見上げ、怖いオバサンや、と言いながら路上の遊びに戻って行った。

どういうことだ、雌のお前がする恰好か。二年前まで真正正銘の雌だった。二度も野良犬の子を生んだのだ。避妊手術はしたけど、お前の経験に後肢で立つポーズはなかったはずだ。島子は、耳を伏せシッポを巻きこんで怯えているブッチの傍にしゃがんで叱りつける。

乱暴に鎖をふり回しながら、公園を出る。

公園の斜面の立ち枯れたコスモスが、初冬の風に首を振っている。

畜生の性のインブットはどうなっている。脳ではなく肉体が刻んだ記憶だけが確と残り、機能と無関係に衝動、行為が生じてしまうのか。残酷、非情、と島子は思った。

大の生理に人間の男女の性が直結し、その違いに失望し、遠からず性を喪うだろう自分に絶望する。何もかもに唾でも痰でもはきつけたい。

石段を昇って、ベランダの柱にブツチを繋ぐ。耕太の部屋は静かだ。音のない家の中が薄気味悪い。

台所の椅子に坐って、石油ストーブを点ける。手を洗ったのに掌にまだ鎖の感触が残っている。掌を火にかざして、ゆっくり揉みほぐす。炙出しあぶりだしをしているように青い血管が徐々に浮き出す。卑屈に背を曲げたエビの姿を思う。エビなもんか、赤い血の噴く人間だ、と思ったとたん、通い婚じゃあるまいし、きぬぎぬは女がしたって、と、立ち上がる。

何を言うつもりだ、何を訊きたい。ダイヤルをはじく爪の先が一回ごとに振り返って島子の顔をうかがう。

「ハァーイ、××社ッ」

陽気な若い男の声。洋介の名を言う島子の声は喉にからみ、低くくぐもってしまふ。受話器の向こうに有線のアムドミュージックが流れている。ガチャンとデスクに置かれた電話は部屋の音を隈なく集音する。

「さっきまでいたよなあ、編集長、誰か見てきてよ」

「いた筈よ」「アラ、しらないの、さっき、風花堂の社長夫人と出たわよ」「あら、またあ」「目下アツアツ中ッ」「ほおんとお、お旺んねえ、ね、どんなふう？」

電話をとった若い男の声が少し離れて誰かと喋っている。用談中にかかったものとみえる。向かい側の女子社員二人も、ページを繰りながら喋っているらしい。電話器が積み重ねた雑誌類に隠れてでもいるのか。

「あのねえ、内緒だけどお、聴いちやった、話の内容、相当なものよ、あの調子じゃもう出来てるわねえ、あのふたり……」なんてこんな話を辛抱強くきかなければいけない、と自分に愛想がつきて、受話器を放り出す。

灼けた鉛の塊がわりやり喉の奥へ押し入ってくる。

目の前を、苦笑した洋介の顔が行ったり来たりする。「ボランテア活動ねえ、大変だよなあ、前向きのもあ

りや後ろ向きのもだってさ」「後ろ向きって？」

「カウンセラーなんて一種の後ろ向きじゃないのかな。個々人の救済に対する奉仕。たとえばさ。主婦症候群でやつもさ。モーレッツ亭主から置き去りにされた女房、子育てに失敗した母親だろ。攻撃タイプ、フロンティア精神のある女達は自分で何とか突破するさ。穴ぼこに閉じ籠るしかない非力な女達は酒に逃げ、精神科の世話になる、もし日常的に女の不満や試行模索を手伝う人間がいれば随分ちがってくる筈じゃないか、亭主以外にさ」「それ、私のこと言ってるの」「とは言わないさ。けど俺に期待されてるのはそれじゃないかって思う事あるよ。あんなだけでなく、俺の周りの女性たちにね。華やかに自立した女実業家や、夫の事業を陰から支えている妻たちも、誰かに親身に頼りたくなる時があるらしいよ」「あなたもそういう後ろ向きのボランテアをやってる訳？」

「ご大層なもんじゃないけどさ、そんな要素もあるってこと。俺は生来のフェミニストさ」

大きな釣鐘が、島子をすっぽり閉じこめてしまった。鐘の内側が巨大な蜂の巣になり、無数の蜂になった洋介の言葉が昏い視界を飛び交う。超音とハガネの反響は耳を襲し、肉体を圧した。

電話が鳴った。

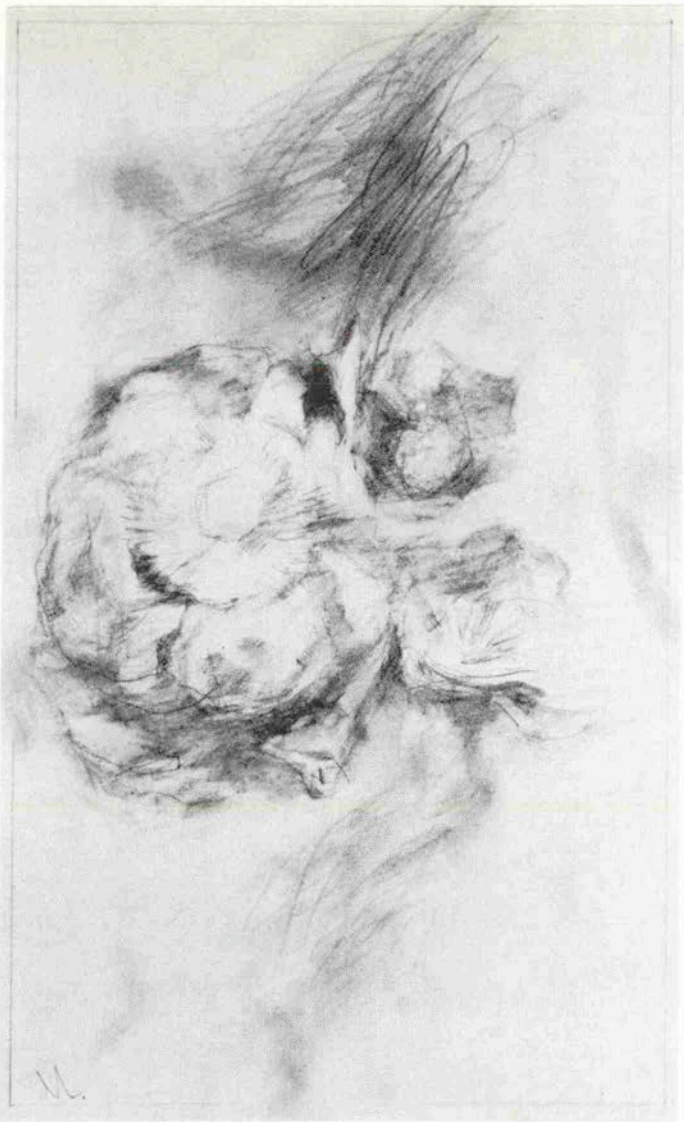
受話器にとびつく。どうぞ、釣鐘をどけて下さい、お願いします。割れそうな頭で洋介に祈る。

「あ、浮田さん、今日の廃品回収ね。コロッと忘れてたけど私が当番らしいの。え？ 浮田さんも忘れてた？」

「ハハハ、安心したわ。明日の朝、自転車でいだけだきに行きますよって、石段の下に出して下さいね。じゃ」

各グループの活動費を捻出するため、月一回の古新聞やダンボールの廃品回収を提案したのは島子だった。

突然、しぼるような腹痛が起こった。床に膝をついて下腹を抱えた。掌の下に暴れまわる腸や胃が触る。トイレに駆け込み、指先で喉や舌を掻きむしる。目の前に、



黄緑のシャッターが降りて、視野がかすむ。

「何やっとなのやッ。うるそうて目が覚めたわ。なんや、今さらツワリの齡でもないやろが」耕太の部屋から声がとぶ。

「病人に早よメシ喰わせろよな」

音高くロックが鳴り渡り、耕太のしかめた顔がみえるようだ。洗面所の水をザーザー出して気配を消す。顔を洗う。冷水を顔にぶっかけながら、よし、邪魔してやる、行きずりの後ろ向きポランティアに復讐を、と呟いて鏡の中を覗く。まるでひどい他人の顔。

窓の外に宵が消えた。エプロンをかける。

また電話が鳴る。今度こそ出先からの、ととびつく。ほんとは未練たらしくしたくないのよ。送話器に口を当て息をのむ。声は夫だ。

「あ、おれ。済まんが、物置きからアイスボックスと竿袋出しといくれんか。経理課長と舟釣に出かける。朝四時起き。課長も釣キチでな。ええ相棒が出来そうや。鯉のトトカルチョやるんや。あ、それから晩飯は要らん」夫の声の後ろで麻雀牌の音が聴える。日曜の不在に今更感情は起さない。かえって夫の嬉しそうな声が目尻の笑い皺を彷彿させる。なにとはなし涙ぐみそうになる。受話器を置くとさっき取り上げた時の自分の気持を思い返す。息子部屋の窺いながら雑誌社のダイヤルを回す。女の子に一方的に言伝けを頼む。約束の場所で二時間も待ちました。そんなおつもりなら、こちらにも覚悟があります、とお伝えを。お電話をずっと待っていたのです、浮田島子です。若々しく声を作る。醜聞が拡がることを願った。

耕太との食事は会話もなく静かだ。

島子は片付けを終え、ソファに凭れて天井を見る。プーメランのような蛍光灯が、傘の内側の夏虫の死骸を浮き出す。夥しい数。

テレビの番組が賑やかに移って行く。

「何をそんなにうっとおしい顔してるんや、テレビ見る気ないんやったら、ほかの家事したらどうや、なんかやる事あるやろ」

「私がここに坐っといたら悪いの」

「その目はどうも俺の見とる番組に、イチャモンつけたそうやからな」

「イチャモンなんかいつ言った」

「よく言うぜ、お題目専門が。もっとましなもの見れないの、幼稚ねえ、本でも読んだらどう？すること一杯あるでしょッ。耳のタコがいつお題目がとんでくるかと怯えとる」

「今はぼんやりしてただけよ」

「目障りやなあ。邪魔つけやなあ。ゴク潰しの身の上としては、ハハウエサマの顔色に戦々恐々や。頼むからどっかへ消えてくれよ」

島子は起って、庭へ出る。サロンエプロンのポケットに煙草とライターを入れた。胸を病む息子のいる所では遠慮している。人の気も知らないで、お題目専門とは何よ。ブッチがすり寄ってくる。チャンネルがカチャカチャ変えられミュージックテープが流れ出す。生の番組をやめてビデオにしたらしい。寒いやないか、戸をきちんと閉めるよッ。ペランダのガラス戸が音を立てる。耕太は曲にのり踊っている。

島子は物置きを往復した。釣竿やアイスボックスをペランダに置き、古新聞とダンボールを運んで畳む。ブッチがサーピス顔でペランダの裾にまつわりつく。だんだん飽きて小舎に潜ってしまう。耳がまだ電話のベルに焦がれている。身を引き剥がして、庭越した崖の下を見る。空も海もブルーブラックのインキ色。ネオン街の上

あたりにローズ色のもやがとろっと立ち上っている。

古新聞を束にして紐で縛る。湿った匂い。

風が出てきた。十日あまり雨が降らず、異常乾燥注意報が出ていた。家から「キヤリホルニアドリーミング」がこぼれてくる。テレビで見た西海岸のコバルトブルー色の空を考えた。異国の空の下に自分を佇たせてみる。コーン、レーズン、オレンジ。目くるめく黄色、青空。私の横に洋介が佇つ。耕太と夫が佇つ。誰も風景にそぐわない。最も似合わない私。どうせ生涯外国へなど行けはしない。この島国だけ、地方都市の一角、この町、この家だけ。一步も動けはしないのだ。島子は声にして呟いた。その時、島子に目玉が甦った。目玉はオレンジ色に還り素朴な炎となって燃えあがることをのぞんでいる。

やみくもに軀を動かして、古新聞の束とダンボールを石段の下へ運びおろす。

路地にも、縦横に風が走る。冷えていた。

中川家の洋館を見あげる。丈高い樹木が風をふくんでざわめいている。珍しく二階の窓の一つに灯影が映る。

周りは充足した静隠。

島子は、路地の中央に立って煙草に火を点けた。煙は軀を避けてうしろに流れた。煙まで自分を邪魔にして逃げていく。

廃品回収は活動資金であると同時に、島子たちの運動のシンボルでもある。暮らしの見直し。使い捨て反対。リサイクル。そのためのボランティア。草の根運動は正しい。男の浮気心を、ボランティアと呼称するさえおぞましい、許せない冒瀆、と島子は思う。気がつくとしやがみこんでダンボールをちぎっていた。許せない冒瀆はまだある。誰の邪魔にもなりませんように、とあの人は言った。誰の役にも、何の役にも立たない人間でいたいだと？ カッコ良く治っているつもりか。生きるためには本意、本意にかかわらず誰かの邪魔をしている、誰かから邪魔にもされる。他人から、家族から。役に立た

talk and talk



新刊「ダンスと空想」

文庫文庫

神戸はいままっさか。 ¥600

★神戸に移り住んで二か月になります。田辺聖子さんの「ダンスと空想」を読んで、神戸のキャリアウマンの恐るべき愛らしさを知ったり、「月刊・神戸っ子」を読んで神戸へのイメージを少しずつ深めたりしているところ。先日は初めて神戸まつりを堪能「神戸っ子サンバチーム」の大熱演を眼のあたりにしました。神戸のあちこちを歩いて、眺めて、食べた二か月。こんな詩とも唄ともつかぬものをつくってみました。神戸へのごあいさつとしてお送りいたします。

出船 入船 女のまつげ
ひらいて 閉じて またひらく
さつき あじさい 女のいのち
咲いて散り落ち また咲いた
坂の東西 緑にうまる
坂の南北 山と海
女サンバは港に躍る
男 Катта 海をのむ
ひらめたい たこ うし ぶ
たとりに
★神戸の大好きな高校2年生です
神戸のことをいろいろ教えて下さい。
15号 長野県長野市安茂里一六〇五
美谷島 綾

Travel Corner



Do/ ダイビング

なくとも、役に立ちたいと思わなければどうなる。あいつらが異常。異常がこの私を抹殺するのにかー
島子はあふれてくる呪いの言葉をダンボールの破片に載せた。載せても言葉は腹の底からほとばしる。ダンボールをちぎりつづけた。ライターをダンボールに近づける。背を突く朱い人が、目玉がそれをさせる。私ではない。この朱のパワーは誰なのだ、私の過去だ、未来のない今の私だ。
ライターの炎はオレンジ色の塊になった。背中の炎は前へ回って、大きく燃えあがる。火だるまのネズミが風に煽られて路地を走る。洋館の森から細い女の声が洩れたような気がした。ふうけゆくう、あーきのよお、たあ

★ダイビングイントロダクトリー
ケラマ(座間味)・石垣
パッケージングでダイビングに挑戦。遊び心に冒険心、今年の夏はダンゼンダイビング!!
△ダイブカレッジ石垣4日間&5日間 南西航空利用V
4日間コース
出発日・料金 5/8、16/27、9/9、30(¥85、800) 6/28、16/30、8/26、11/31(¥87、800) 7/1、17/21(¥89、800) 7/22、7/24(¥98、800) 7/25、18/8、8/16、18/22、

9/12、9/20(¥108、800) 8/9、11/8、15/12、800) 8/12、14(¥131、800) 行程 1日目(大阪空港→那覇空港→石垣空港→到着後フリータイム) 2日目(石垣港在→那覇空港→ポートダイビングコース1日) 3日目(出発までフリータイム→石垣空港→那覇空港→到着後フリータイム) 4日目(出発までフリータイム→那覇空港→大阪空港) 5日間コース
出発日・料金 5/8、16/26、9/1、9/30(¥91、800)

6/27、16/30、8/26、18/31(¥93、800) 7/1、17/20(¥96、800) 7/21、17/24(¥105、800) 7/25、18/8 行程 1日目(大阪空港→那覇空港→到着後フリータイム) 2日目(那覇港→座間味港→到着後フリータイム) 3日目(ケラマ滞在→スキューバダイビングコース) 4日目(座間味港→那覇港→到着後フリータイム) 5日目(那覇空港→大阪空港) かわしいお問い合わせ せ(078)3921348 6時 トラベルメディアまで。

びのそおらは……。風音がそんなふうなりズムをつくつたように思えた。
島子は次々と足もとのダンボールへ火をつけていった。仕方がない、言葉を焼かなくては。紙と言葉を焼いて自分が蘇生するのか、死んでいくのかわからない。ともかく、今のこのパワーが命ずるのだから仕方がない。どうしようもないではないか。
島子は炎上するダンボールの破片を鷲掴み、中川家の木立ちへ、塀へ、耕太のバイクへ、放り擲っていった。いまに、巨大な火柱が立つのだ。再生産されたオレンジ色の闇が、私をつつみこむ。

△完△

夏の爽涼、七夕膳。



京懐石 5,000円より
松花堂 3,500円(午後2時迄)

■ 芦屋店

京料理
あらびの里

芦屋 打出小徳町30

TEL(0797)23・5666

営業時間…午前11時～午後10時(駐車場有り)

京都本店…京都・山科区小山中島町28

TEL(075)591・0911

新宿店…東京・新宿区西新宿2の4の1

新宿NSビル1F

TEL(03)349・8789



Japan
Ladies
Bowling
Club

JLBC 4つの言葉

- ・美しさをいつまでも
 - ・若さはあなたの誇り
 - ・友愛を広く社会に
 - ・幸せはあなたの心から
- いつでもどなたでもご入会いただけます。

暑い夏に快汗!
リフレッシュ・ポイント!



Grand Rokko

灘区友田町5-2-3
☎078(841)3151(代)

グランド六甲友の会入会受付中(ジュニア会員新設)

ボウリングが、国体(63年京都)の正式種目になりました。
グランド六甲では、より多くのジュニアボウラー育成を目指し、新たに「ジュニア会員」を設けました。

一親子同じスポーツで快汗!!—ご入会お待ちしております。

※ボウリング選手を目指す「ジュニア オリンピッククラブ」
メンバー募集中!!

☎ 841-3151 藤田・和田・中東 担当

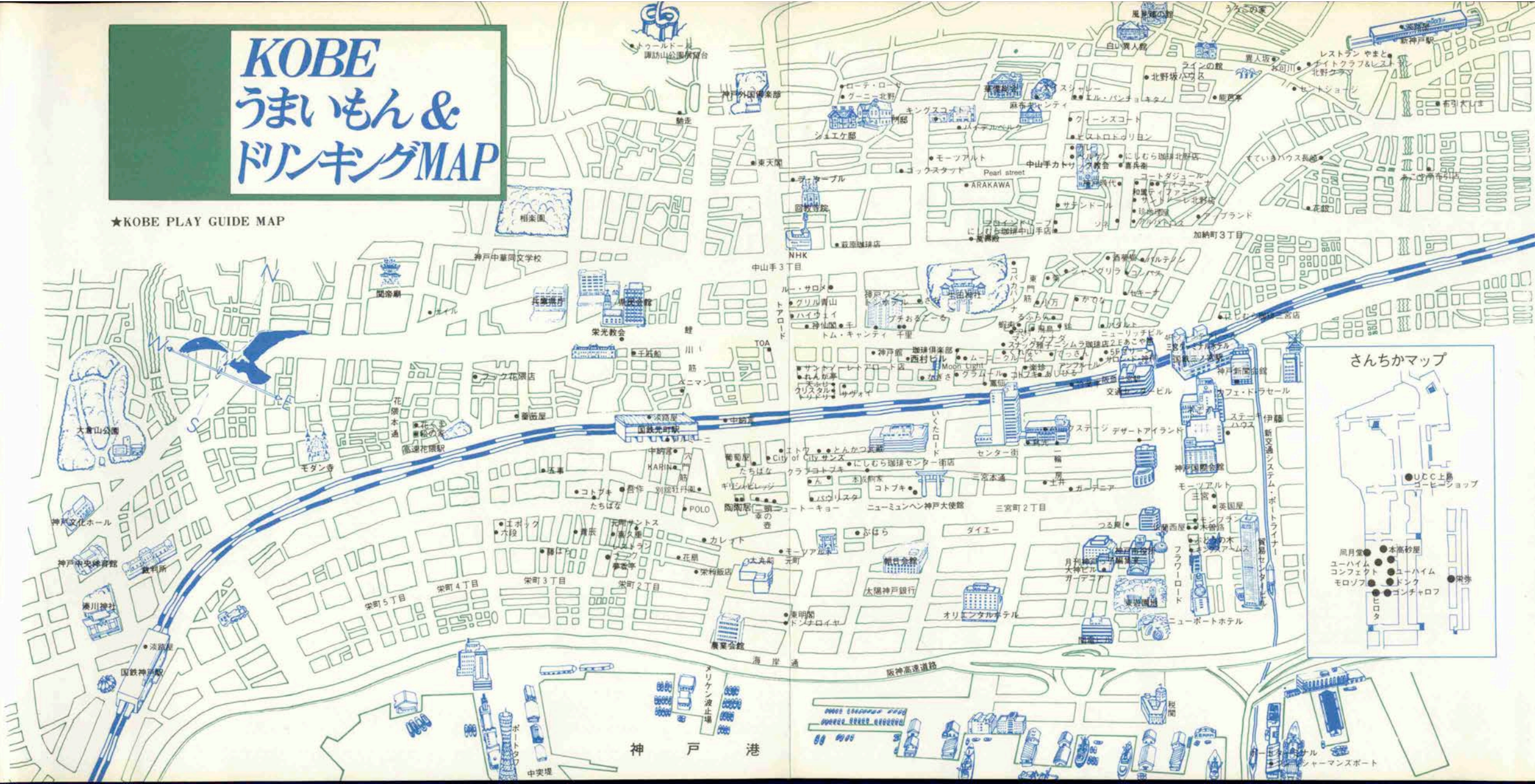


駐車場完備(180台収容)

KOBE

うまいもん & ドリンク MAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



神戸港

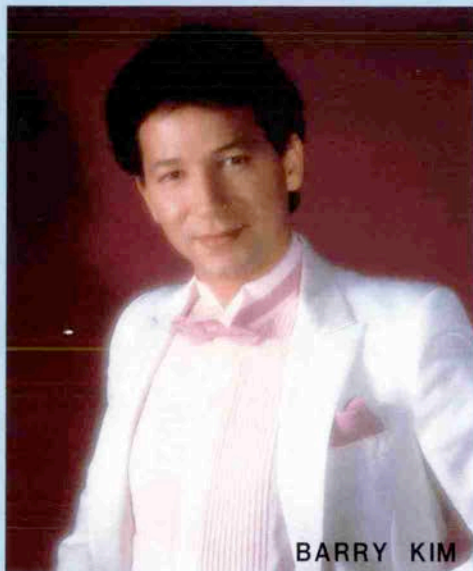
ニューポートホテル

ニューポートホテル

キラキラ輝りつける真夏の一夜
トロピカルディナーショーへのお誘いです。

TROPICAL DINNER SHOW

トロピカルディナーショー



BARRY KIM

バリーキムとモダンハワイアンズ

8/7(木)・8(金)・9(土)

お一人様 ¥8,000

(ショー、ディナー、税金、サービス料共)

トロピカルバイキング料理

大宴会場2F

1部 6:00PM～7:40PM

2部 8:10PM～9:50PM

(1部、2部は入替制でございます。)

ハワイが生んだ最高のポップシンガーBARRY KIMを迎え、エキサイティングで、アダルトエレガンスなディナーショー、ワイドなレパトリーでハワイムードをおとどけます。



オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25 ☎(078)331-8111

SHOPPING

夏のひかり、きらめく 神戸らしさのプレゼント



パカドオフローチ
イワリの 19世紀中期

・アンティークジュエリー専門店
サヴオイ
中央区山本通2-13-13 ☎242-3444
十九世紀ヨーロッパのアンティーク
ジュエリーのコレクションを、是非一
度御覧下さい。



・Tennis Spot
CHIX
北野・異人館倶楽部2F ☎222-4810
BOYA & CHIX ☎412-7344
テニスシーズンを到来ノウエアも小物
もオリジナルできめて、個性キラリ。



・アクセサリー/小物雑貨
ユアーズ
中央区山本通2-14-26 ☎251-5363
ちよつぱり野性的に装ってみませんか。



・洋装店
クチュールラセーヌ
大丸前 ☎331-3654
あなたらしさを表現するオリジナル
& プレタで夏の装いを。輝く日陽しの
中、神戸エレガンスが涼やか…。

SHOPPING

潮のかおりに
誘われて…
サマーショッピング!



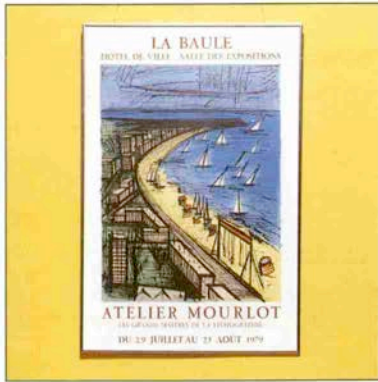
● 手づくりの心をつたえる
Cascade
西宮北口店 ☎07998・65・3821
ドイツ人マイスター、Mrシモンの手
による本場ドイツの味。ライ麦やミル
クがたっぷり入って、ヘルシー100%。



● ベっ甲
太田べっ甲店
元町1番街山側 ☎331・6195
その日の気分でライト感覚のべっ甲
のペンダント。あなたの胸元で、可
愛い小猫や天使が踊ります。



● ギフトグッズ・コレクション
パーソナルギフトカメラ
元町通1・4・8 ☎391・0768
AM10:00 ~ PM8:00
ときめく心を贈りたい人、あなたらし
さを表現してくれるグッズがいっぱい。



● 画材・額縁
末積製額
トアロード・大丸前 ☎331・1309
太陽の光あふれる南仏の海岸を、風
をはらんですべるヨット。画面いつぱ
いに広がる夏をビュッフェの版画で。

ホテル全但 グルメの集い

涼宴仕様

小骨きる 父の上手や はも料理



清音の膳一部

日本料理

清音の膳

「7月1日～8月31日」

《はもと湯葉料理》

■ 扇コース

料理10品にドリンクをセットしました

税・サービス料込 8,200円

■ 氷室コース

料理12品にドリンクをセットしました

税・サービス料込 10,000円

政府登録 国際観光旅館

ホテル全但

神戸市中央区下山手通4丁目5-1 ☎(078) 391-3838 (代)



楽珍の調理の真髄は

おもてなしのこころ

四季つれづれに

芳醇な日本の味と香りを

おくりいたします。

政府登録国際観光レストラン

懐石料理

楽珍 神戸

阪急西口店/阪急三宮西口北ラインボーラザ3～4階 ☎321-5200(代)

宴会場/神戸三宮生田筋西側西村ビル3～4階 ☎332-1717

昼のコース 6,000円



四季おり
新鮮な素材とまごころで
のりの風味を

割烹
酒
川

〈会席料理〉

- 昼の部 (AM11:30~PM2:00)
6,000円 (税サ込
飲み物1本付)
- 夜の部 (PM5:00~PM9:30)
7,000円、10,000円
(税サ別)

要予約
日曜、祝日休業



中央区中山手通1-13-14
神戸酒販ビル2F
☎ 078(332)5575



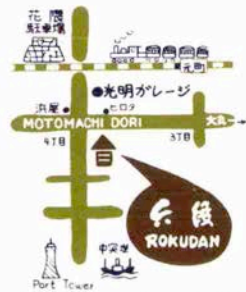
炭やきすてき
しゃぶしゃぶ

六段

のれんをくぐれば
そこは民芸調
琴の調べを背に、舌鼓

- ▶ すてきこーす
(す・ぶ・すて・き・さ・ら・だ・ら・い・ず)
2,800円・4,500円・3,300円
- ▶ らんち(月~土)2時迄
1,700円・2,500円
- ▶ すてき
へれ 5,600円
さーろいん 5,800円
- ▶ しゃぶしゃぶ
4,500円・6,500円

二階 座敷20名様迄の会食も承ります。
営業時間 11:45AM~21:00PM
定休日 第1、第3水曜日



神戸/元町三丁目 中突堤筋
☎神戸078(331)2108

パリ祭の夜をオーベックファンで…

〈パリ祭スペシャルメニュー〉

1986年7月12日(土)～20日(日)

お一人様 ¥8,400(税・サ込)

メニュー

半熟卵の赤ワインソース
クルトン添え

スズキのエスカロップ
うにと香草風味

仔うさぎのエストラゴンソース
トマトサラダ

オーベックファン特製デザート
コーヒー又は紅茶
ライチのシロップ煮



フランス料理

Au Bec Fin
オーベックファン 神戸

神戸市灘区岩屋中町4-2-15島文第3ビル9F

Tel. 078(881)1530

ランチタイム 11:30AM～2:00PM

ディナータイム 4:30PM～9:00PM ラストオーダー

姉妹店の青山(東京)・先斗町・祇園もよろしくお願ひします。



Sironely

〈木ノ根 繁弘・シェフ〉

- 味・ムードともにグルメにご満足いただけるスペシャルメニューをぜひご賞味ください。
- 各種パーティに8F会議室もご利用ください。
- 無料駐車場を完備しています。

リヨンで修業を積んだシェフの
おすすめはヌーベルキュイジーヌ。
ゴージヤスな味覚の世界へ誘います。
おまかせコース ¥8,000!



ジャン・ムラン

中央区北野町3-1-1 ☎ 242-4188
11:30~14:00 17:00~22:00 水曜休



Bistrot de Lyon

中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727
12:00~14:30 17:00~21:00(ラストオーダー)月曜休

本場リヨンで古典派フランス料理
の真髄を学んだ山崎シェフが腕に
よりをかけおもてなしいたします。
ランチコース ¥2,200、¥3,200
ディナーコース ¥5,500、¥7,500、¥10,000



'86.7.14 祝パリ祭
今宵、すっかりパリ気分

パリジャン、パリジェンヌを気取って食べては?



時をかさねて歌燃えて……
大木康子の歌と中田実郎のピアノで
シャンソンの醍醐味をどうぞ。
日時 7月10日(1)7:00 (2)8:30(入替制)
会費 ¥5,000(税込)フリードリンクオーダーブル付
前売チケット発売中(締切7月5日)



トム・キャンティ

Restaurant Bar
Tom Chianti

中央区下山手通2-11-5 神戸ワシントンホテル1F
☎ 331-2122 PM5:00~AM2:00 (年中無休)



フレンチレストラン

アラン・シャペル

中央区港島中町6丁目神戸ポートピアホテル31F
ご予約・お問い合わせ ☎ 302-1111

パリ祭特別料理 7月7日(月)~14日(用)
ソムリエコンクール世界第4位の
木村シェフソムリエの特選ワインも
お楽しみください。
お一人様 ¥10,000 夜 ¥16,000 税サ別



コートダジュール オリジナルバーベキュー

新鮮な魚貝類・肉を炭火で焼きながら、ダイナミックに野菜料理を…。
サービスコース(8名以上) ¥5,000 スペシャルコース ¥12,000(飲・税・サ別)
30名様収容可・前日予約可



中央区中山手通1-22-113ヒルサイドテラス4 F ☎222-7222
11:00AM~5:00PM (ランチタイム2:00PMまで) 5:00PM~会員制



メニューは、とんかつとえびかつだけ。吟味された素材と揚げ加減が老舗の味の秘訣です。ぜひご賞味下さい。

とんかつ むさし 花

本店/三宮・センター街 ☎321-0634 11:00AM~7:30PM水曜休
さんプラザ店/三宮・さんプラザB1 ☎391-2427 11:30AM~8:00PM 月曜休



カップを手にするときは、いつも最高でいたい。マイベストタイムをカレットで…。姉妹店「カフェ・ド・ラセル」(新聞会館1F)が6/26オープンいたしました。

サロン デイ
Carette

神戸市中央区元町通1丁目元町一番街
☎(078)321-1739



味にまごころを伝えた豊富なメニュー。生パゲティと神戸ビーフを生かした各コースを御賞味ください。

出張パーティも承ります
RESTAURANT

やまと

新神戸駅前そごうマークのビル2F
AM11:00~PM9:00 ☎242-2020(代)

TASTE OF KOBÉ

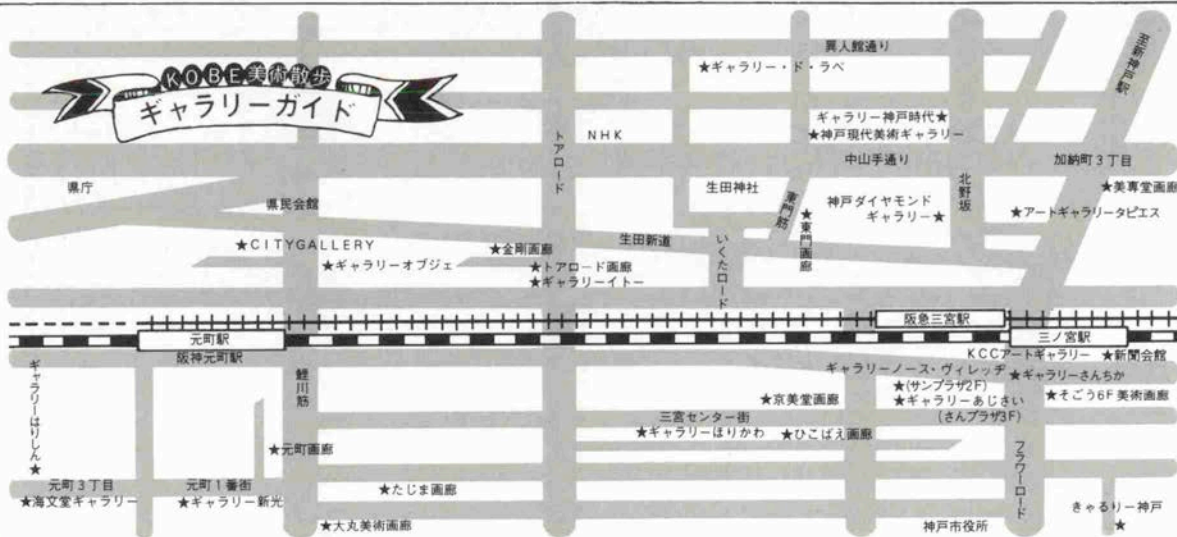
初田寿展



●黒一色の深層の世界

ギャラリーほりかわで、開廊2周年を記念して初田寿展が開かれた(6月5日~10日)。黒一色の抽象の世界について”具体的に何を表現するというのではなく音楽のように感じていただきたい。見る人の側の想像性をくすぐり、人の心に波紋を投げかけたい”と初田さん。超モダンの底に、滋賀の旧家のかやぶきの家で、かまどの煙でまっ黒にすすけた中で育った幼児期の深層心理があるのではないかと思われるようだ。

KOBE美術散歩
ギャラリーガイド



畫廊 蘗

- 1~6 緋紅会作品展(日本画)
- 8~13 袋物ほんどのいど展(ぐるーぶカンガール)
- 15~20 2人展 磯石權男(陶芸) 中安勇(絵画)
- 22~27 宮本清司 猪塚広海 陶芸2人展
- 29~3% 黄沙貝 絵画展(中国水墨画)

神戸市中央区三宮町1丁目
6-3 (パレックス東隣)
☎(078)391-4137 月曜休

海文堂
ギャラリー

ギャラリー
あじさい
常設展

神戸市中央区元町通3-5-10
☎(078)331-6501

神戸市中央区三宮町1丁目
8-1-305 さんプラザ3F
☎(078)331-1639-1067

SALON & GALLERY (北野坂)
神戸時代
常設展

ギャラリー
ほりかわ

- 3~8 南みほ展
- 17~22 丹生充木版展
- 24~29 神戸陶芸クラブ展
- 30~3% 山本創個展

神戸市中央区中山手通1丁目
23-10 モンシャート・コトブキビル1F ☎(078)242-3567
喫茶(昼)土日・スタック(夜)日曜休

神戸市中央区三宮町2-10-11
☎(078)332-4877